WATCH

一般社団法人JMFIの主催で第2のスタート！

アジア・シームレス物流フォーラム2017

Asia Seamless Logistics Forum (ASLF)

第1回 企画・実行委員会を開催

年7月に第1回を皮切りに，5回のフォーラムを開催してきたこと。

- これまで委員会の意見を集約する中で，サブテーマとして，①ものと情報の標準化，②物流の見える化，③災害に負けない“サプライチェーンの強靱化と，以上によって④安心・安全・環境保全，⑤アジア進出支援を実現する，とのコンセプトを拡充したこと。
- これら喫緊の課題を産業界に改めて訴え，解決に向けたオールジャパンの取り組みを加速するため，次回も2日間にわたり様々なセッションを設け，同時にシームレス化・見える化・強靱化等を支援するサービス・技術・製品展示コーナーを設置すること。
- その内容をさらに進化させるべく，この場で委員の皆様のご意見を頂戴したいこと…

ASLF飛躍の2ndステージへ，記念すべき第一歩

㈱流通研究社・月刊マテリアルフローの主催により，2016年に第5回を数えるまで拡大成長を遂げてきたアジア・シームレス物流フォーラム（ASLF）。次回のフォーラムから，昨年11月18日の設立総会で一般社団法人として本格活動を開始した日本マテリアルフロー研究センター（JMFI）が新たな主催団体となり，第2のスタートを切る（流通研究社は運営事務局）。新体制の「アジア・シームレス物流フォーラム2017」は5月18日㈭・19日㈮の2日間，前回同様東京流通センターでの開催が決定しているが，その第1回企画・実行委員会が去る11月24日，東京・港区のメルパルク東京で開催された（図表1）。

委員会は冒頭，JMFI専務理事の小池勉フォーラム事務局長がマイクを持ち，「本年より当フォーラムはJMFIが主催団体となり，流通研究社が運営事務局を担当する体制に進化しました。委員の皆様には改めてご支援をお願い致します」と開会挨拶。

次いで主催者を代表し，JMFI常務理事の菊田一郎フォーラム企画統轄が，「JMFIがフォーラム主催団体となるなか，月刊マテリアルフローはJMFIの機関誌ともなっており，事務局・広報担当として引き続き尽力して参ります」との挨拶に続き，開催趣旨を以下のように説明した。

- 本フォーラムの構想の源流は，晩年に流通研究社の名誉会長を務めた「アジアの物流の父」平原直が唱えた〈アジア善隣物流〉構想にあること。
- 日本経済が中国・韓国や東南アジア諸国とますます一体化するなか，アジア物流のシームレスな相互連携を推進し，アジアと日本の競争力を向上し相互の友好を図ることを大目的に本フォーラムの企画を立案，2012

セミナー／セッション，展示の拡充で来場1万2,000人達成へ

続けて菊田企画統轄が，2017年度のフォーラムの中核をなすセミナー／セッション企画の枠組み案を紹介した（図表2）。現時点で新企画案として打ち出されたのが，図中②の〈中韓ASEAN・グローバルセッション〉だ。これは，一昨年来のタイ王国大使館に加え，次回すでにベトナム社会主義共和国大使館の後援が決定しており，さらにインドなど他国の大使館にも働きかける中で，アジア各国のスピーカーに登場いただい

小池勉専務理事

菊田一郎常務理事

て現地の実態を生の声で聞くというもの。合わせてアジア各国企業の出展も強化し，日本企業との交流コーナーの設置も検討していくことを紹介した。

また，フォーラムのもう一方のコアである展示コーナーについても，出展の拡大に向けた枠組みについて紹介（図表3）。上記の新企画と連動し，特別企画として「アジア・グローバル連携コーナー」を設ける方向で，有料出展200小間の目標を提示。このたたき台に基づき各委員より意見を募り，取りまとめていく姿勢を示した。

さらに来場者の動員については，委員の組織や出展者からの呼びかけに加え，事務局でもSNS積極活用やJMFI会員・本誌やメルマガ読者企業への幅広い呼びかけで，従来に増して積極的な取り組みを展開することで，次回の来場者数を前回9,788人から約2,000増の１万2,000人とする目標が示された。

ニトリ・松浦氏，日通・井口氏の共同議長により議事進行

次に参加委員の自己紹介を経て，議長選任に移った。その結果，今回も荷主代表と物流代表による共同議長制を継続し，荷主企業代表として㈱ニトリホールディングス上級執行役員で㈱ホームロジスティクス代表取締役社長の松浦学氏，物流企業代表としては日本通運㈱事業開発部長・お客様相談センター所長井口博実氏が，満場一致で議長に選出された。

松浦学共同議長

井口博実共同議長

ここで委員会は，両議長の就任挨拶を経て審議に入った。議題は，①フォーラム2017に期待する方向性，開催コンセプトについて，②セミナー各セッションに期待するテーマ，講師・企業について，③展示会コーナーの方向性，内容と出展拡大の取り組みについて，④より多くの来場者においで頂く動員方法について，の４項目。議事は各出席者からの意見を募りながら，前半は松浦共同議長が進行，後半は井口共同議長にバトンタッチし進行した。

各委員からは先の事務局基本提案に対して賛同が示されたのに加え，「2020年の東京オリンピック・パラリンピックに向け，設備・建築などの中重量品の物流テーマをセミナーに取り入れたい」，「アジア進出支援のテーマや現地の法規制の変化な

図表1 アジア・シームレス物流フォーラム2017 企画・実行委員（敬称略・順不同）

共同議長	●㈱ニトリホールディングス｜上級執行役員（㈱ホームロジスティクス／代表取締役社長）	松浦　学
	●日本通運㈱｜事業開発部長 お客様相談センター所長	井口　博実
委員	●イオングローバルSCM㈱｜取締役 経営管理本部長	太田　年和
	●㈱イトーヨーカ堂｜物流企画開発部 総括マネジャー	松浦　敦
	●㈱日本アクセス｜常務執行役員 ロジスティクス部門管掌 兼 西日本営業部門ロジスティクス統括	宇佐美文俊
	●味の素㈱｜物流企画部長	堀尾　仁
	●日産自動車㈱｜SCM本部 部品物流エンジニアリング部部長	三上　佳男
	●東芝㈱｜執行役員常務付	正木　裕二
	●キヤノン㈱｜ロジスティクス統括センター 副所長	福森　恭一
	●日本貨物鉄道㈱｜取締役兼執行役員 営業統括部長	真貝　康一
	●三井倉庫ロジスティクス㈱｜執行役員 SCM営業本部長	杉浦　宜修
	●ヤマトロジスティクス㈱｜代表取締役社長	本間　耕司
	●山九㈱｜ロジスティクス・ソリューション事業本部 企画部 部長	中原敬一郎
	●センコー㈱｜物流経営研究所 所長	藤原　正邦
	●SGHグローバル・ジャパン㈱｜代表取締役	正代　誠
	●㈱セイノー情報サービス｜常務取締役 第二営業部長 兼 東京支店支店長	松本　充博
	●エムエスシージャパン｜社長	甲斐　督英
	●郵船ロジスティクス㈱｜執行役員 総合開発営業部長	川島　利夫
	●㈱日立物流｜ロジスティクスソリューション開発本部 副本部長	福神健字郎
	●三菱商事㈱｜新産業金融事業グループ 物流本部 物流ソリューション部長	本田　隆一
	●日通商事㈱｜取締役 執行役員 情報システム部 経営企画部担当	宿谷　肇
	●㈱山善｜機構事業部マーケティング統括部 戦略企画部部長 兼 開発室室長	合志　健治
	●日本アイ・ビー・エム㈱｜インダストリー営業統括 流通営業本部担当執行役員	伊藤　昇
	●㈱NTTデータ｜第一公共事業本部第二公共事業部 営業部 貿易物流ソリューション担当 部長	佐野　直人
	●伊藤忠テクノソリューションズ㈱｜サービス営業部 部長補佐	長谷川真一
	●㈱ダイフク｜取締役 常務執行役員 FA&DA事業部門長	下代　博
	●㈱豊田自動織機 トヨタL&Fカンパニー｜国内営業部 部長	小倉　崇
	●日本パレットレンタル㈱｜取締役	岡部　利文
	●三甲㈱｜専務取締役 営業本部長	赤星慎一郎
	●日本貿易振興機構（JETRO）｜総括審議役（途上国ビジネス開発担当）	吉村佐知子
	●（一社）日本経済団体連合会｜産業政策本部長	上田　正尚
	●（一社）日本物流団体連合会｜理事　事務局長	村上　敏夫
	●（一社）日本アパレル・ファッション産業協会｜事務局長	遠藤　孝顕
	●（一財）流通システム開発センター｜常務理事	濱野　径雄
	●（一社）日本パレット協会｜専務理事／アジアパレットシステム連盟 アドバイザー	福本　博二（依頼中）
オブザーバー	●国土交通省｜物流審議官部門 国際物流課長	町田　倫代
	●経済産業省｜商務流通保安グループ 流通政策課兼物流企画室 室長補佐	勝尾　嘉仁
	●独立行政法人 国際協力機構（JICA）｜東南アジア・大洋州部 計画・ASEAN連携課	末兼賢太郎

図表2 ASLF 2017のセミナー／セッション企画の基本的枠組み

① 物流政策セッション

アジア物流・シームレス化への政策・国際連携

- 国土交通省 国際物流課，経済産業省 物流企画室長を講師に招く基調講演でスタート
- 農水省他，政府系団体様とのコラボ企画／激しい国際環境へとアジア物流の今後，ハラール物流

② 中韓ASEAN・グローバルセッション 新企画

アジア各国のスピーカーに実態と課題をきく

- ASLF自体のグローバル化を一歩進め，各国大使館等との連携でコンテンツ強化
- 中韓に加えタイ，ベトナム（新たに後援に参加）等ASEAN各国代表メンバーによる取り組み紹介
- 各国への日本企業の誘致の情報展開 ⇒ 展示会で交流コーナーを設置し連動

③ 製造業セッション

アジア各国とのサプライチェーン連携の実態と課題

- 自動車，電機，アパレル，食品・日用品その他製造業（企業または業界団体）の取り組み
- パーツロジスティクス，医薬・医療機器，SPA企業の統合サプライチェーン
- それを支援する物流・ロジスティクスサービス，ICT企業の取り組み

④ 流通業セッション

アジア各国に展開する小売業と物流シームレス化

- 小売（SM／GMS，コンビニ，専門店等），商社，卸売業界の代表的取り組み
- 製配販連携，業界内連携の推進／オムニチャネル・リテイリングへのチャレンジ
- それを支援する物流・ロジスティクスサービス，ICT企業の取り組み

⑤ 通販物流セッション

アジア市場に越境展開する通販ビジネスとシームレス物流

- 日本を代表する通販企業のキーマンを招く講演またはパネルディスカッション
- オムニチャネル・リテイリングを支える物流，ロジスティクス／越境EC
- 通販物流のシームレス化・効率化課題～物流拠点システムとIT

⑥ 生鮮物流／コールドチェーンセッション

アジアに展開する生鮮・低温サプライチェーン

- 農水産品，冷凍・冷蔵・チルド品等の製配販シームレス連携，輸出拡大への物流システム技術
- 安心・安全な国内産品をアジア市場へ展開する取り組み，中小企業の輸出・進出支援
- それを支援する物流サービス，ICT活用

⑦ 先端技術セッション

物流スマート化・高度化へのイノベーション

- 国際物流の見える化，リアルタイム連携を支援するICT/IoT/AI技術と応用展開
- ロボティクス／ドローンで構内シームレス化・自動化，無人運転車等によるラストマイル配送
- 先端研究者を迎える専門セッション／進化するAIと物流最適化

＊その他，シームレスに加えシェアリング，環境負荷低減（サステナビリティ），ダイバーシティ（3S&D）という総合的観点から，コンテンツをさらに強化する計画

図表3 展示コーナーの主な対象分野

① アジアのシームレス物流実現に向けて

- アジア各国とのシームレス物流を支援する陸海空の物流，フォワーディング，3PLサービス
- 標準パレット，コンテナの国際シームレス運用，その実現に向けたサービス・システム
- ものと情報を一貫・一体管理するICT/IoTシステム，サービス
- 港湾，空港など物流施設，連動する相互国内の物流拠点，流通加工含む一貫サービスの充実
- 物流のセキュリティ管理高度化／多言語対応
- 物流・ITでのアジア進出支援サービス
- 現地，国際物流とラストマイルをつなぐ物流サービス
- オムニチャネル支援ソリューション

② 国際物流の見える化推進に向けて

- サプライチェーン可視化（ビジビリティ），トレーサビリティ支援システム
- AIによるビッグデータ解析，地理的な距離を超え災害に強いクラウドソリューション
- サプライチェーン計画システム，庫内管理（WMS）・輸配送管理（TMS）の実行系システム
- 物と情報を一体化するIDシステムと国際標準化……RFID，2次元シンボル，バーコード
- 庫内，輸配送工程での現在位置＝リアルタイムロケーション管理システム（RTLS）
- システムと現場をつなぐ車載機器，モバイル端末，スマート端末の技術
- 輸出入，通関，貿易業務管理システム，税関との連動

③ 環境保全・コスト削減，安心・安全・強靭化に向けて

- 物流荷姿（ユニットロード）のモジュール化，整合化，国際標準化……クレート・通い箱，パレット，カゴ車，貨物コンテナなど物流容器・資材，保管機器，フォークリフト
- コンベヤ・運搬車両などマテハン機器
- 荷崩れ防止と環境重視の包装・梱包
- 物流容器，資材の共有化・共用化，グローバルなリターナブル運用サービス，管理高度化による廃棄物削減，物流機材の流失防止対策
- ものと一体化する情報のシームレス管理，トレースソリューション
- 医薬，食品の安全を守るコールドチェーン支援技術・サービス
- 災害時にも対応する物流拠点，ネットワークの強靭化・システム化／BCM，BCP
- 3PL企業による効率化支援サービス

③《特別企画》アジア・グローバル連携コーナー

- タイ王国大使館，ベトナム社会主義共和国大使館等との連携で，アジア現地企業参加を促進／日本企業との交流コーナー設置も検討

ど，リスク情報が提供できると良い」，「出展コーナーがテーマ別にゾーニングできれば」等々，活発な意見が交わされ，企画充実・拡大に向けた確かな手ごたえが実感された。

最後に次回，第２回の企画・実行委員会を１月20日㊎に開催することを確認し，委員会は終了。別室に移動しての懇親会では，打ち解けたムードの中，各委員が相互に親しく語り合い，今後に向けてますますの結束を固める，またとない機会となった。

＊

なおフォーラム事務局では，「アジア・シームレス物流フォーラム2017」の出展申し込み受付を開始した。概要を紹介する企画書など関連資料は，下記への問い合わせ，または専用Webサイトからのダウンロードも可能となっている。 MF

主催	一般社団法人 日本マテリアルフロー研究センター（JMFI） 〒171-0022　東京都豊島区南池袋2-47-6 パレス南池袋202 ［TEL］03-3988-2671　［FAX］03-3980-6588　［URL］http://ryuken-jmfi.or.jp/
出展に関するお問合せ先	株式会社 流通研究社　アジア・シームレス物流フォーラム運営事務局

◆資料請求はお電話またはeメールで下記へ
［TEL］03-3988-2661　［FAX］03-3980-6588　［E-mail］info@mf-p.jp

◆資料は右よりダウンロードできます ☞ http://mf-p.jp/asia2017/